

岩手県感染症週報

平成17年第16週（4月18日～4月24日）

岩手県結核 感染症情報センター

第16週の概要

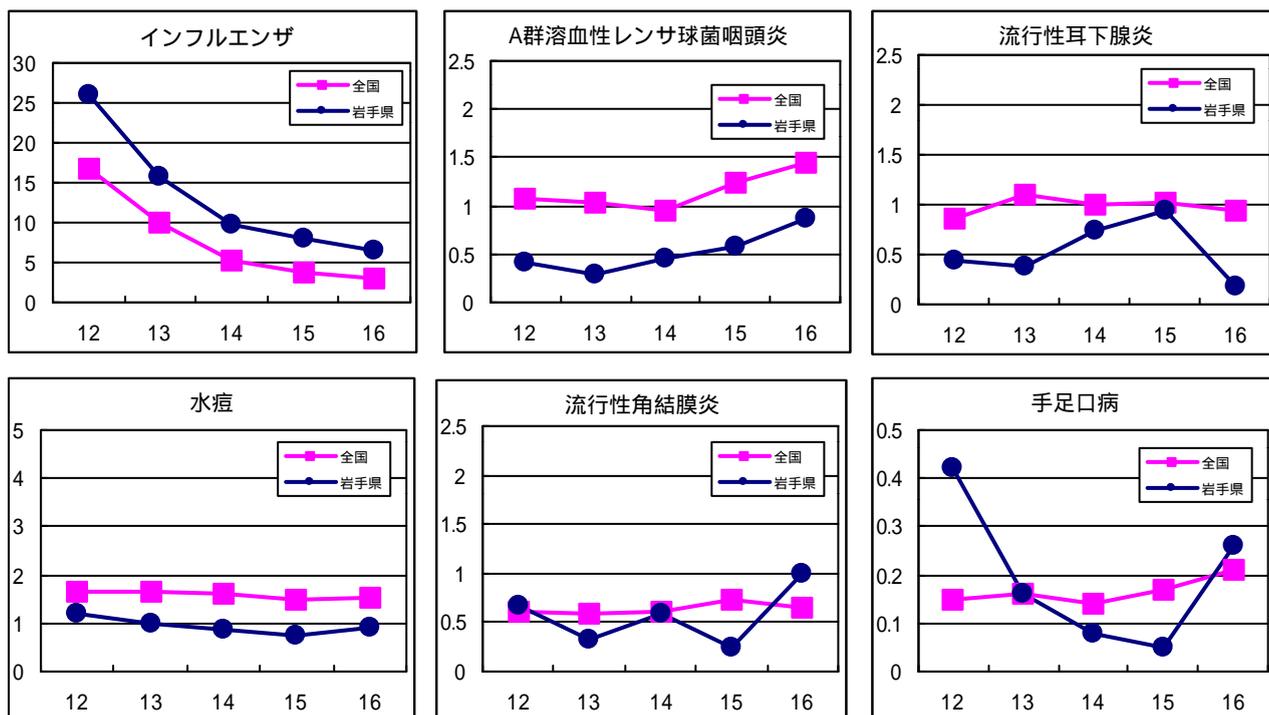
- | | | |
|-------|---------------------|--------------------|
| 1類感染症 | } 患者発生の報告はありませんでした。 | 4類感染症 |
| 2類感染症 | | 5類感染症（全数把握対象疾患） |
| 3類感染症 | | ・患者発生の報告はありませんでした。 |

5類感染症（定点把握対象疾患）

- ・インフルエンザは、前週に増加した地区が3地区ありましたが、この週にはすべての地区で減少しており、警報値（定点あたり患者数30.0人）を超えている地区はありません。この週にもっとも患者数が多いのは前週と同じく久慈地区（同患者数が27.3人）です。また、同地区では学年閉鎖措置をとった小学校が1校あり、今シーズンに施設閉鎖等の措置をとった施設は計115施設となりました。
- ・流行性耳下腺炎は、前週まで患者の多かった北上、久慈地区で減少しました。
- ・溶レン菌咽頭炎が4月に入ってから各地で少しずつ増加しています。この週には北上、大船渡地区で患者数が多くなっています。
- ・手足口病は、県内全域で少しずつ患者が増えています。
- ・流行性角結膜炎は、釜石地区から5例の患者発生の報告がありました。
- ・マイコプラズマ肺炎は、花巻地区から11例の患者発生の報告がありました。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		12	13	14	15	16		
インフルエンザ	岩手県	25.9	15.73	9.63	8	6.47	↘	
	全国	16.78	9.99	5.24	3.75	3.1		
咽頭結膜熱	岩手県	0.03	0.03	0.05	0.03	0.05	→	
	全国	0.13	0.15	0.15	0.17	0.2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.42	0.29	0.45	0.58	0.87	↗	
	全国	1.07	1.03	0.96	1.23	1.44		
感染性胃腸炎	岩手県	3.32	2.61	1.97	2.21	3.03	→	
	全国	5.32	5.33	5.3	5.51	5.81		
水痘	岩手県	1.21	1	0.87	0.76	0.89	→	
	全国	1.64	1.64	1.62	1.47	1.52		
手足口病	岩手県	0.42	0.16	0.08	0.05	0.26	↗	
	全国	0.15	0.16	0.14	0.17	0.21		
伝染性紅斑	岩手県	0.18	0.26	0.29	0.32	0.24	→	
	全国	0.18	0.21	0.25	0.22	0.27		
突発性発疹	岩手県	0.37	0.5	0.45	0.68	0.79	→	
	全国	0.47	0.55	0.64	0.68	0.69		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0.01	0.01	0	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.08	0	0	0.05	0.13	→	
	全国	0.04	0.08	0.09	0.13	0.15		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.45	0.37	0.74	0.95	0.18	↘	
	全国	0.86	1.09	1	1.03	0.93		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.67	0.33	0.58	0.25	1	↗	
	全国	0.6	0.59	0.61	0.74	0.65		
RSウイルス感染症（患者報告数）	岩手県	1	0	0	0	0	→	
	全国	63	60	44				
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.02	0.01	0	0	0.01		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.03	0.03	0.02	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.15	0.15	0.15	0.25	0.55	↗	
	全国	0.18	0.25	0.18	0.26	0.21		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0.05	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.02	0.01	0.02		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

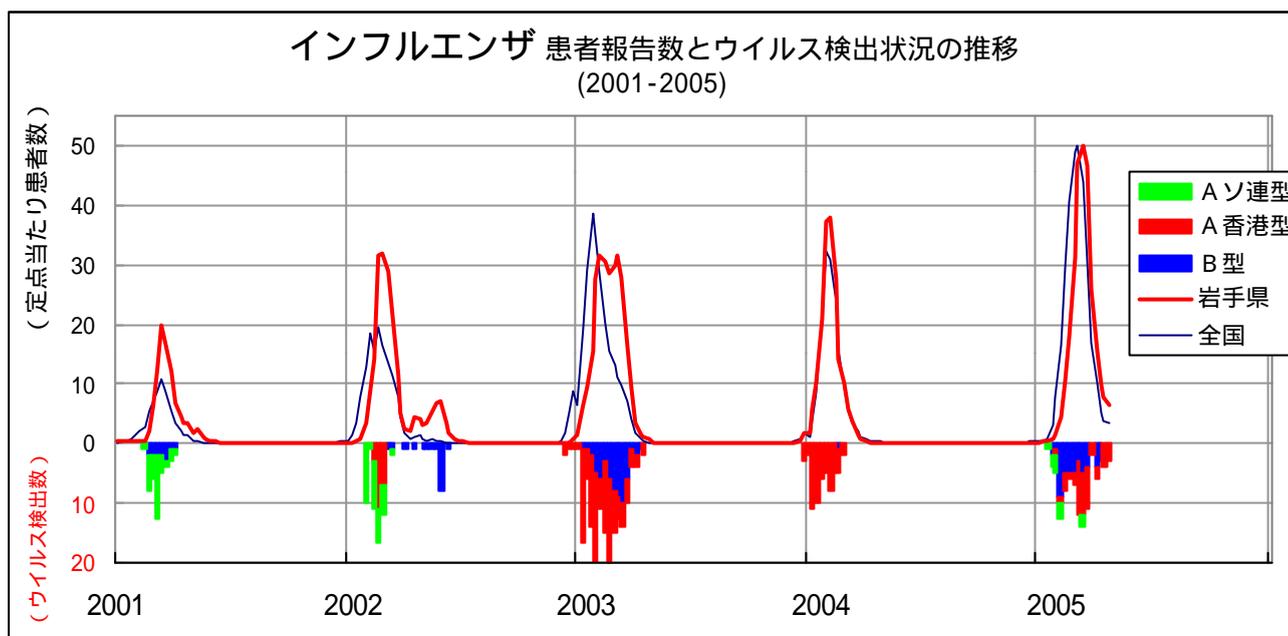
全数把握対象疾患（過去5週の動き）									(患者発生数)	
分類	疾病名	岩手県					全国			
		(週) 12	13	14	15	16	累計	16	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	2	13	
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	3	185	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	18	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	3	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	1	21	219	
四、 五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	1	0	0	1	2	203	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	6	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	0	4	21	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	1	0	0	0	2	0	94	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	2	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	4	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	2	43	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	0	23	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	11	308	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	16	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	1	3	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	0	24	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	1	9	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	1	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	0	0	0	1	7	152	
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	21	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	27	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	19	
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	1	31	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

昨年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けしております。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

今注目の感染症

インフルエンザ

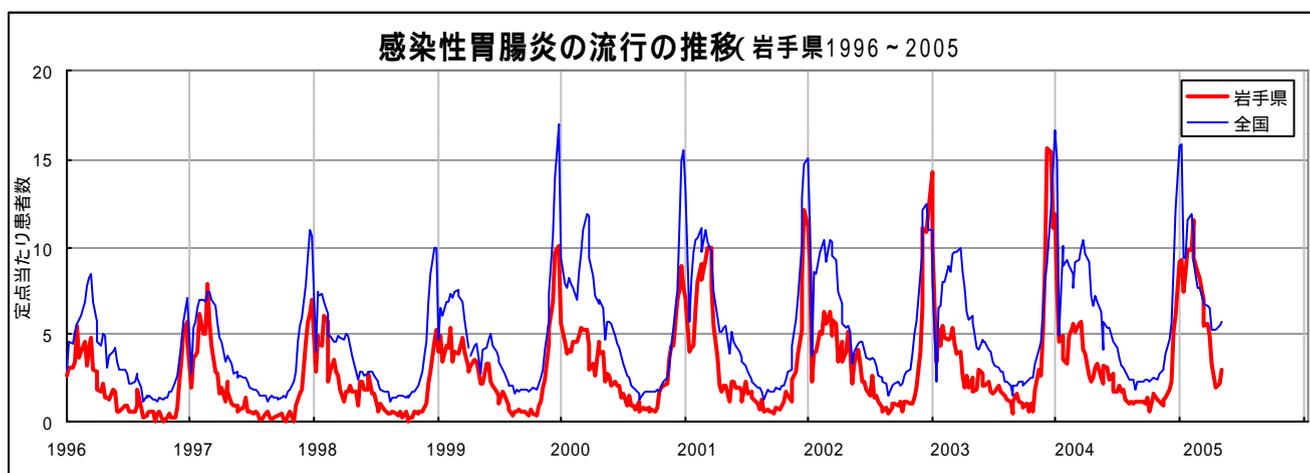
今シーズンのインフルエンザの流行は、第10週が流行のピークとなりました。全国的には、第9週がピークで第10週には減少しています。県環境保健研究センターの病原体検査では、Aソ連型、A香港型、B型の3種類のインフルエンザウイルスが分離されており、これらのウイルスが同時に流行していることが示唆されています。



ノロウイルスによる感染性胃腸炎

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、全国的にノロウイルスによる集団感染事例が問題となっていますが、感染症発生動向調査によると、今冬の患者発生状況はほぼ例年並みとなっています。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、症状が消失した後もウイルスが3～7日間ほど患者の便中に排出されるため、特に二次感染に注意が必要です。また、患者の吐物にも多量のウイルスが含まれているので、二次感染を防ぐため、汚物の処理時には100倍程度に薄めた塩素系漂白剤で消毒するなどの処置が必要であり、感染の防止にはなによりも十分な手洗いが大切です。



病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液からA香港型インフルエンザウイルスを7例、B型インフルエンザウイルスを1例分離検出しました。

医療機関からの情報

盛岡地区の医療機関から

- ・まだインフルエンザは潜在しているようだ。
- ・現在、インフルエンザは、迅速診断キットではA型のみである。
- ・4月中旬からウイルス性の肺炎が増えている。アデノ、インフル、RSVは陰性である。

集団感染情報

- ・インフルエンザ様疾患による施設閉鎖措置
普代村立普代小学校 3学年 4月26日5校時から28日まで

今シーズンの施設閉鎖措置数は4月28日までに延べ115施設となった。

ノロウイルスによる集団食中毒事件

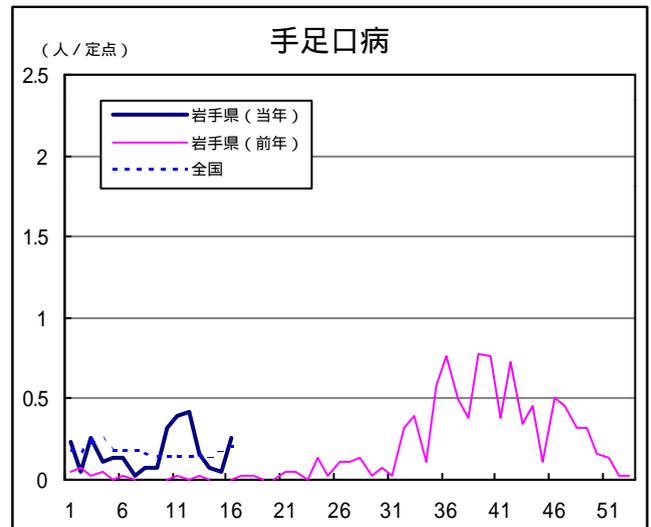
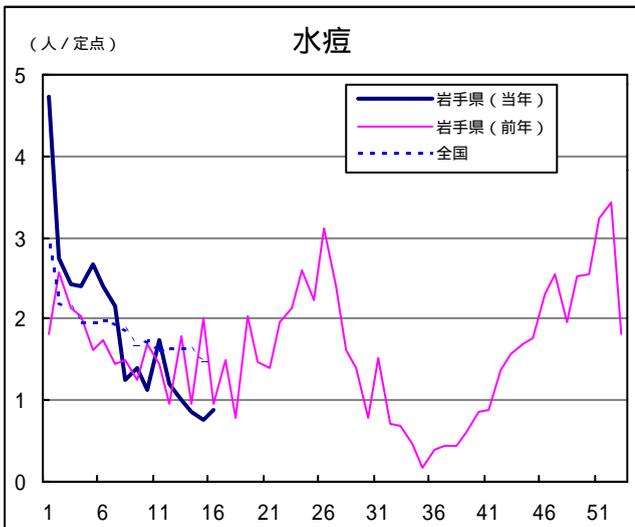
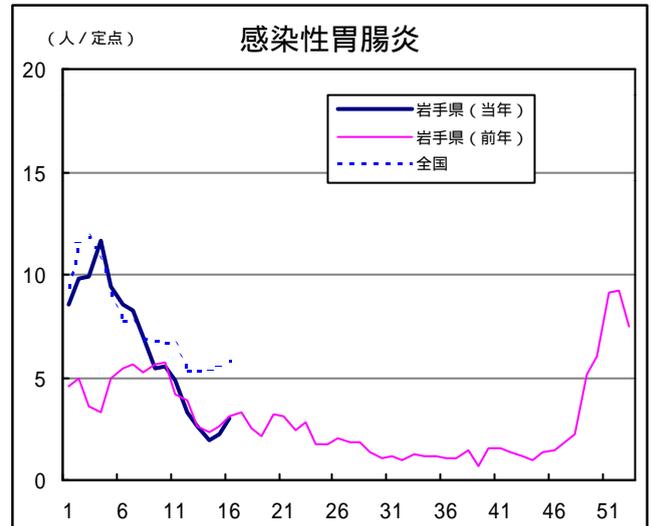
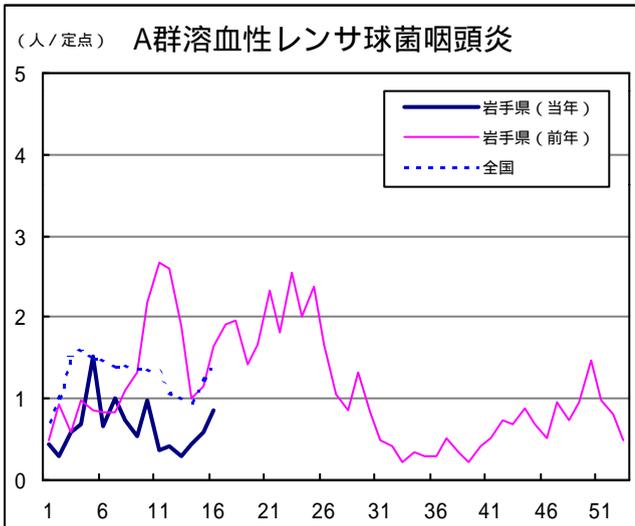
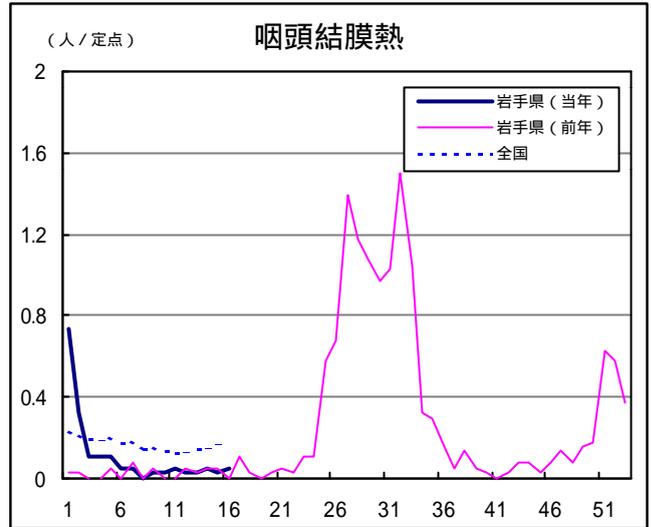
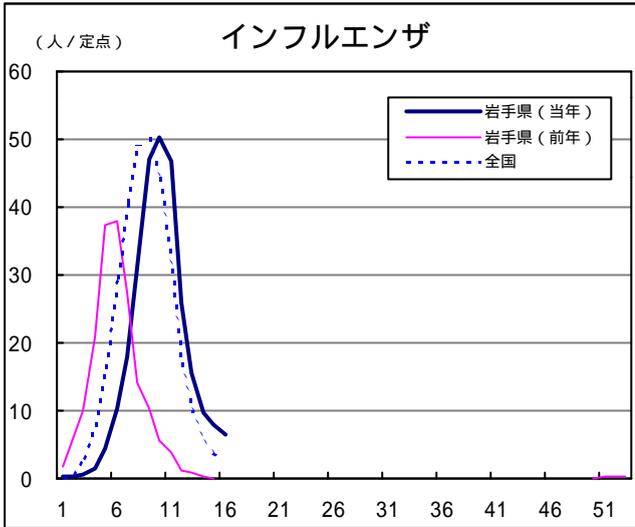
- 1 事件の察知
4月25日、一関保健所管内の事業所から、「仕出し弁当を食べた複数の社員が食中毒症状を呈している」との通報が一関保健所にあった。
- 2 調査結果
当該仕出し弁当は、県南地域の複数の事業所等に提供されており、他の事業所等においても同様の症状を呈している患者がいること、患者の共通食品は当該仕出し弁当のみであり、患者の症状も共通していること、また、環境保健研究センターの検査の結果、複数の患者便からノロウイルスが検出されたことから、本事件を、ノロウイルスによる食中毒事件と断定した。
(1) 初発年月日 4月23日(土)午前5時
(2) 患者数 46グループ82名(通院20名、入院1名)(4月27日正午現在)
(3) 主症状 嘔吐、腹痛、下痢、発熱
(4) 病因物質 ノロウイルス
(5) 原因食品 4月22日昼の仕出し弁当
(6) 原因施設 水沢保健所管内の飲食店(弁当屋)
- 3 保健所の措置
原因施設を管轄する水沢保健所は、原因施設に対して4月27日から29日までの3日間、食品衛生法に基づき営業停止処分とした。

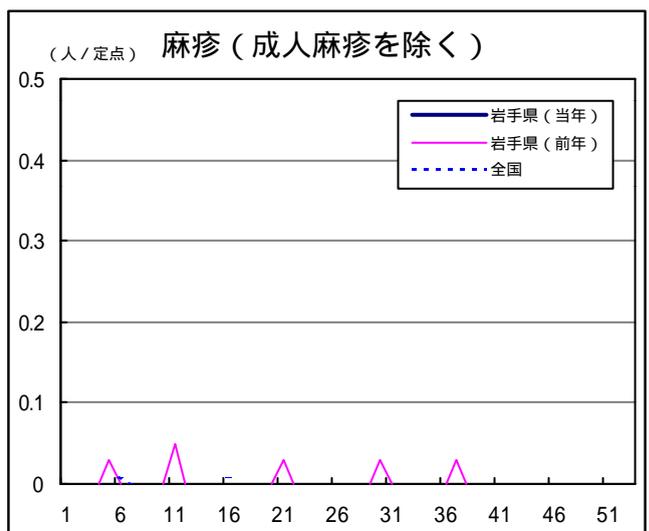
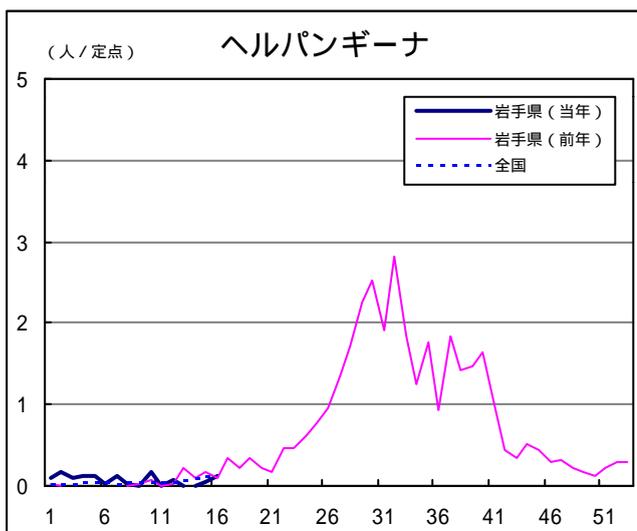
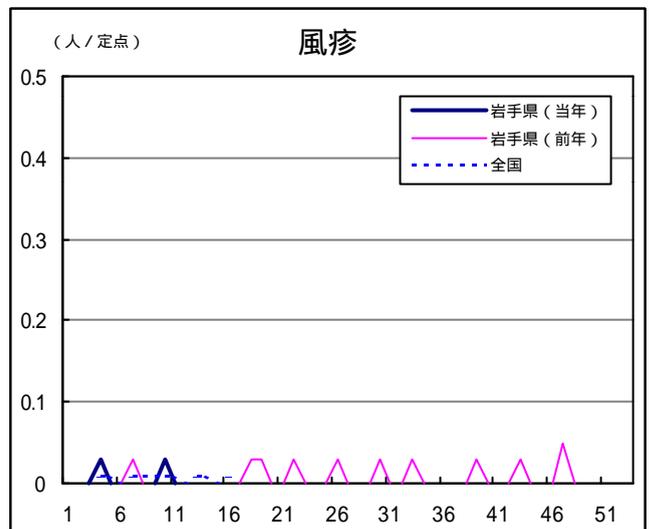
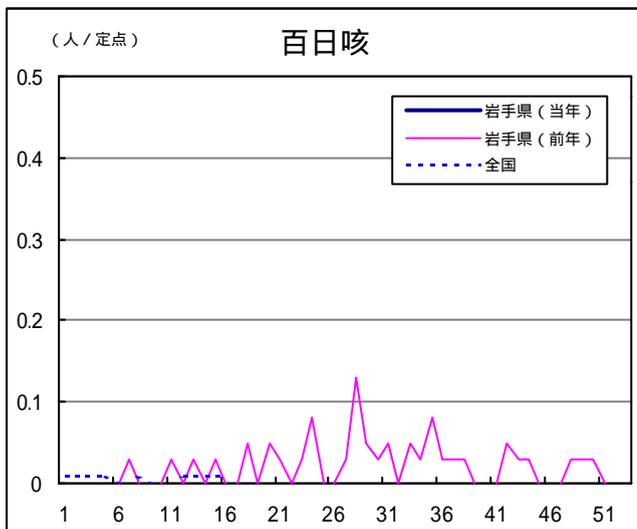
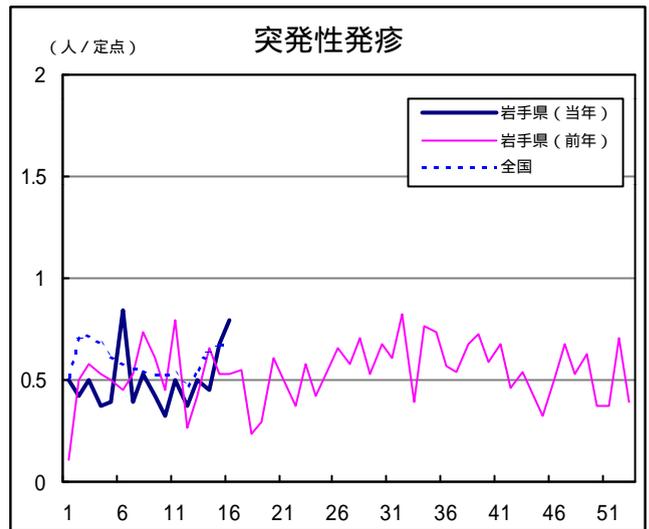
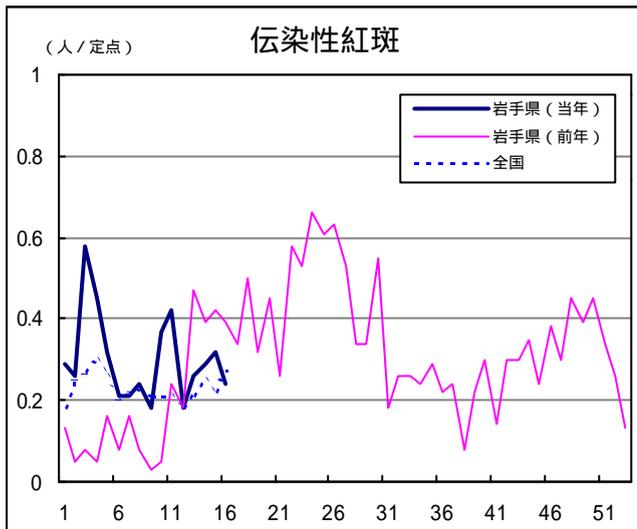
Q & A

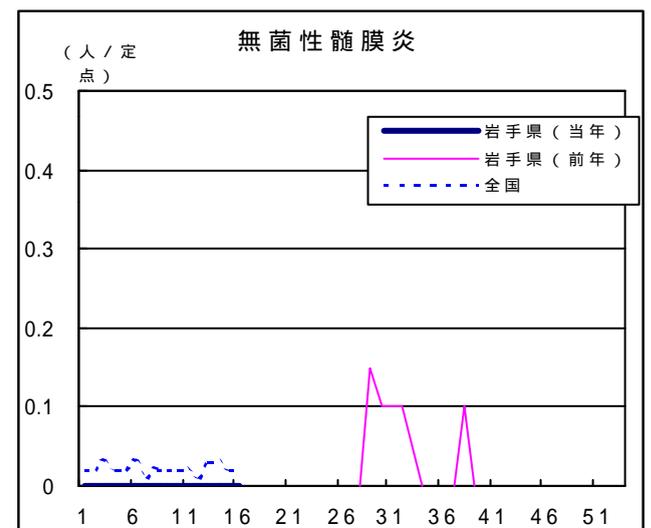
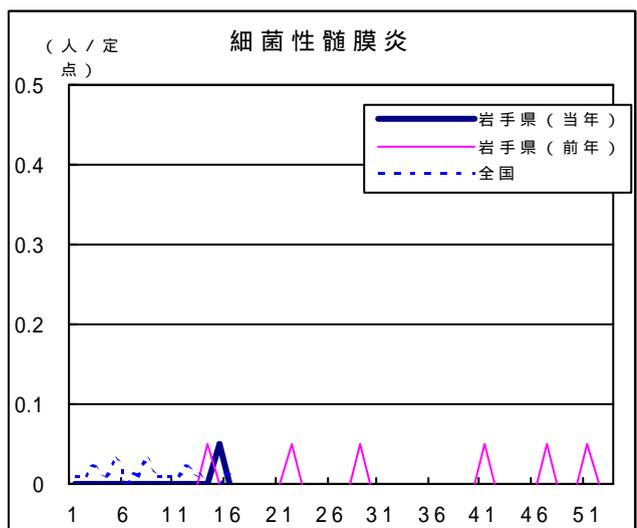
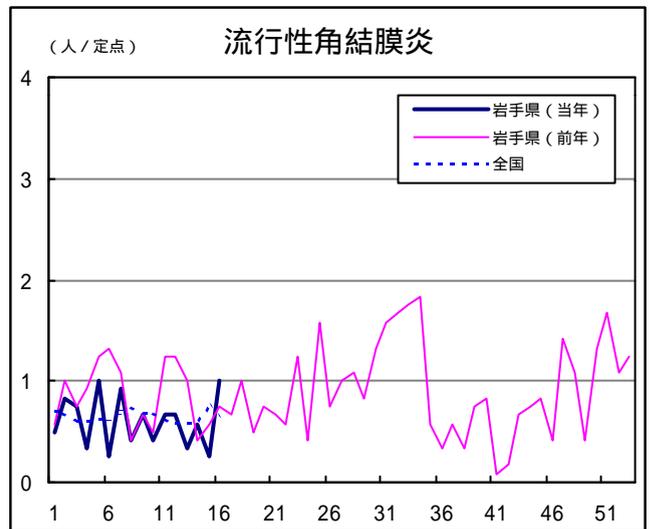
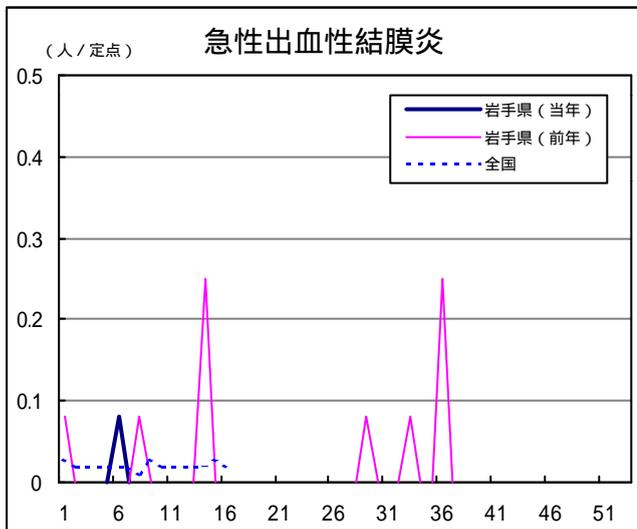
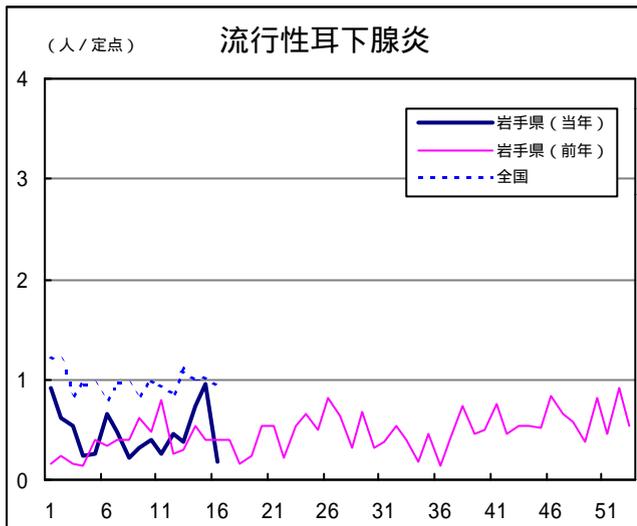
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

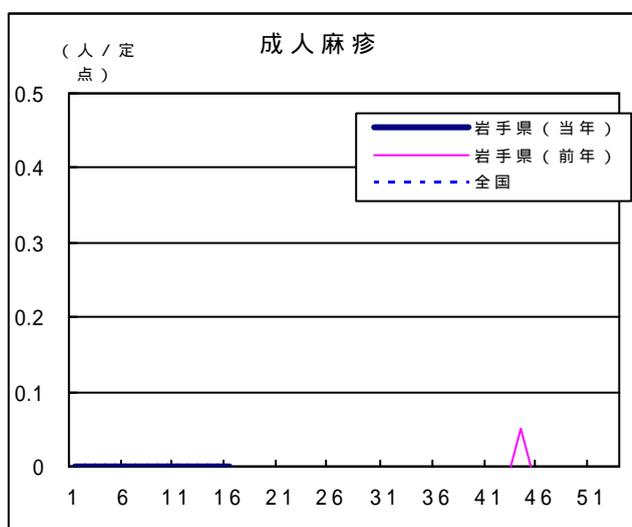
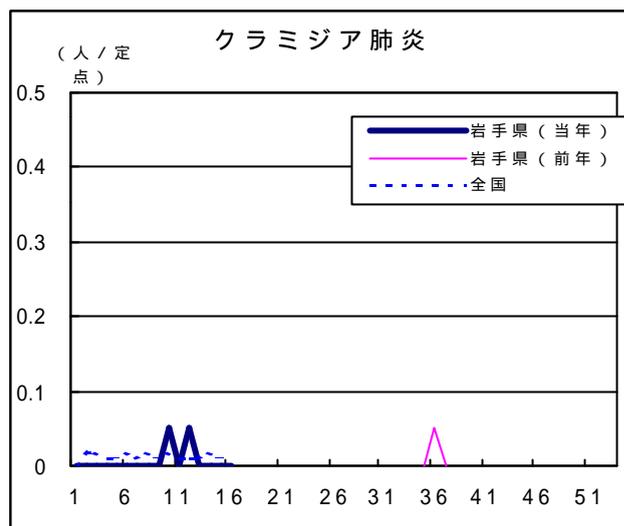
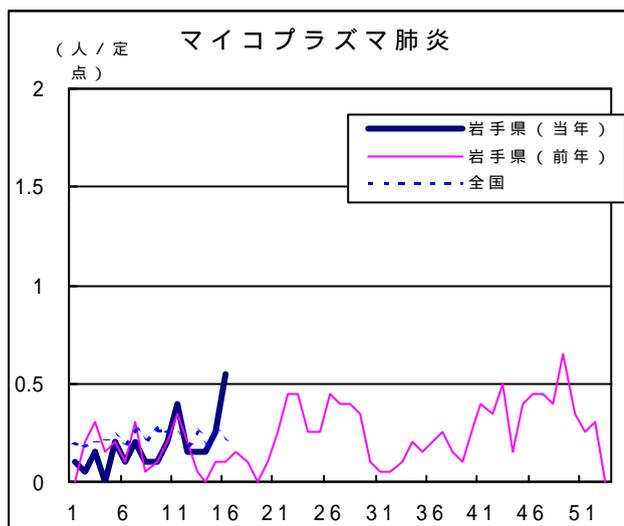
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成17年第16週 平成17年4月29日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>